

小学校 第3学年 給食時間の学習指導案

1 題材名 「さわらについて知ろう」

2 題材設定の理由

3年生の児童は、総合的な学習で松浦市の水産加工場の見学を行い、地域の食べ物について関心が高まっている。給食では、毎月さばやさわらなど松浦でとれる魚を使用しているが、実際には松浦産であることを知らずに食べている児童も多い。そこで、給食を通して、さわらについて知らせることで、地元の食材に関心をもたせるために本題材を設定した。

3 本時の目標

さわらの特徴や名前の由来について知り、残さず食べる意欲をもつ。

4 食育の視点

さわらの特徴や名前の由来を知ることによって食材に興味をもち、食べる意欲をもたせる。
(食品の選択)

5 他教科との関連

社会科 「品物はどこから」
「物を作る仕事」

6 本時の展開

過程	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資料
食前	○今日の給食に使われている地場産物は何かを考える。	○松浦産のさわらが使われていることを知らせ、「鱈」という漢字からどの食材か考えさせる。 ○3種類の魚の写真を見せて、さわらはどれか考えさせる。	「鱈」の漢字カード 魚の写真
さわらについて知ろう			
食事中	○味わいながら食べる。	○身の色や皮をよく見たり、味わいながら食べるように促す。	
食後	○さわらの特徴を知る。 ○地元産の魚に興味をもち、残さず食べようとする意欲をもつ。	○「鱈」という漢字の由来やさわらが出世魚であることを知らせる。 ○さわらの漁獲量は、長崎が全国2位であることを知らせる。他にも地元でとれる魚を知らせる。 ○地元産の魚を残さず食べようとする意欲をもたせる。	

7 指導のつながり

・他の魚や給食に出てくる魚料理を紹介する。